

[] 対話文読解問題

- A 対話中のセリフを補充する問題。
各選択肢の内容と前後のセリフを追えば素直に入れられる。

選択肢

- 1 いいえ、それは害のない種類でした。
 - 2 そうですね、たくさんありました。
 - 3 それは現時点でいうことは難しいですよ。
 - 4 次に何が起こりましたか？
 - 5 それで、それは何だったんですか？
 - 6 それらは300年以上前のものだと確信しています。
 - 7 ありがとう、デイヴィッド。ここにいられるとはすばらしい。
- (a) 司会者に紹介された後ゲストが言う言葉。 7
- (b) 博士が発掘した廃墟の年代についての質問に対する答え。6だと年代を確信しているので、後ろの「そのような情報を確立するにはまだたくさんのをしなければならぬ」と合わない。
3
- (c) 命にかかわる危険についてたずねられた後。後ろに「列挙」を表す“the first”が使っているため、複数の例があるはず。 2
- (d) 危機一髪の状態を切り抜けた一番「オイシイところ」で入れる相づち。 4
- (e) 「三つ目の危険」をたずねるセリフ。 5
- (f) ヘビについての問答が続いている。「大きかった？」「いや、小さかった」「毒をもってた？」「(f)」「わかりませんよ、ジョーンズ博士」という流れ。 1

- B 英作文。

秘密の寺院へのトンネルの入り口を我々が発見した後、その中に何があるのかを確かめるために私一人が中へ入っていったんです。

とりあえず

我々が秘密の寺院へのトンネルの入り口を発見した
私一人が(トンネルの)中へ入っていった
(その目的は)中に何があるか確かめるため
と分けられる。

We found (out) / discovered the entrance to a tunnel

*entrance は of + 建物、to + 通路となるので、注意。

けれど、「入り口」にこだわらなくても「トンネルを見つけた」と書いても OK でしょう。

「～への」の部分“lead to ~”「S(道など)が～へと続く」の語法が使える。“leading to the secret temple”の形にしてトンネルの後ろにつければいい。

I went into it これで「私がトンネルの中へ入った」ができる。「一人で」というのに困った人もいるかもしれないけれど、“by oneself”「自分で、独力で」が使える。また、“oneself”だけでも「自分で」という副詞表現として使うことができる。

in order to see what was inside “in order”なしで不定詞だけを置いても目的を表すことができる。* 時制の一致を受けて“what was inside”とするのを忘れないように！！

After we found the entrance to the tunnel leading to the secret temple, I went into it myself to see what was inside.

(テレビの対談番組の司会者が著名な考古学者にインタビューしている)

司会者 皆さん、今晚この番組のゲストを紹介できることは私にとってたいへんな名誉となります。世界的に有名な考古学者であり、冒険家でもあるウィリアム・ジョーンズ博士です。

ジョーンズ博士 **ありがとう、デイヴィッドさん。こんなすばらしい番組に呼んでいただいて。**

司会者 ジョーンズ博士、あなたは7ヶ月間アマゾンのジャングルで調査をされて、戻って来られたばかりだとうかがっております。

ジョーンズ博士 そのとおりです。

司会者 博士はアマゾンで何をなさっていたのですか。

ジョーンズ博士 古代都市の廃墟を発掘していました。

司会者 古代都市？魅力的ですね。その廃墟とはどのくらい前のものなんですか。

ジョーンズ博士 **現時点でお答えするのは難しいですね。**それを特定するためにまだやらなければならないことがあるんですよ。

司会者 なるほど。この都市にはどんな人が住んでいたのでしょうか。それは誰だったんです？

ジョーンズ博士 くりかえしますが、これは難しい問題です。そこで発見した寺院の壁に刻まれていた文字は古代マヤ人の使っていたものに似ています。しかし、こんなに南の地域では未だかつてマヤ人の痕跡は見つかっていません。ですから、これは全く知られていない民族の物ではないかと考えています。

司会者 たいへんおもしろいお話です、ところでジョーンズ博士、これはたいへん危険な調査だったと思いますが、博士をはじめ調査隊の皆さんが直面した、命にかかわるような困難があれば、お聞かせ願いたいんですが。

ジョーンズ博士 **ええ、何度もありましたよ。**最初に危険な思いをしたのは毒矢が当たりそうになったときですかね。

司会者 毒矢ですって？何があったんです？

ジョーンズ博士 秘密の寺院へのトンネルの入り口を我々が発見した後、その中に何かあるのかを確かめるために私一人が中へ入っていったんです。中の部屋で、石でできたテーブルの上に置いてある黄金の像を見つけて、それを見ようと近づいていきました。ところがまさに私がその像を持ち上げた瞬間に毒矢が飛び交い始めたのです。運良く身を伏せてかわすことができました。

司会者 **それからどうになりました？**

ジョーンズ博士 ええ、私は素早くその像をバックパックの中に入れ、全速力で暗いトンネルを戻っていきました。そのときもう少しで押しつぶされて死ぬところでした。

司会者 「押しつぶされて」って、またどうしたんです？

ジョーンズ博士 背後で他の音が聞こえなくなるほど大きな衝突音が聞こえました。肩越しに振り返ってみると、大きな石の玉が転がりながら追いかけてきてるんです。

司会者 それでどうしました？

ジョーンズ博士 死に物狂いで走りましたよ！

司会者 どうやって難を逃れたんです？

ジョーンズ博士 トンネルの入り口に着くとすぐに、横に飛びのいたんです。すると大きな石の玉がすぐそばを通り過ぎていきました。

司会者 危ないところでしたね！

ジョーンズ博士 まったくです。あと1秒遅れていたら、私は押しつぶされて死んでいたでしょう。しかしそのとき、突然三つ目の危機に直面したんです。

司会者 **で、それは何だったんですか？**

ジョーンズ博士 私が倒れこんだ場所のそばにあったやぶの中で、ヘビがうごめいているのが見えたんです。

司会者 ヘビが攻撃してきたんですか？

ジョーンズ博士 いいえ、遠ざかっていきました。

司会者 大きかった？

ジョーンズ博士 いやいや、ごく小さいやつでしたよ。

司会者 では、毒ヘビだったんですか？

ジョーンズ博士 **いいえ、無害な種類のヘビでした。**

司会者 わかりませんが、ジョーンズ博士。

ジョーンズ博士 簡単なことですよ、デイヴィッドさん。私はヘビが大っきらいだ！